

本公募（古池公園）で求める便益施設のイメージ

公園の便益施設は、単に必要なものが充足されるという機能だけでなく、公園利用全体への満足度をより高めることが大切であるため、本公募施設は、古池公園が過去から作り上げてきた雰囲気を生かし、これに調和するとともに、その施設によって、古池公園の質や利用価値が高まり、新たな楽しみ方が創出されるなど、それ自体が公園の魅力施設となることが重要です。

また、一時避難地としての機能をより向上させることも重要です。

したがって、本公募において求める便益施設のイメージは、以下のとおりとします。

求めるイメージ

- 公募予定地の南側には運動場があり、また、西側には遊具エリアがあるなど、日ごろから公園を利用する市民が多いことから、公園に来た人が便益施設に寄ってみたいくなる、便益施設に来た人が公園に寄ってみたいくなるような相乗効果を意識した配置及び上質で洗練された外観、内装
- 広場での散策、軽運動、急な天候の変化など公園利用者の利用形態に即したきめ細かい品揃え
- 公園利用者に認知しやすく室内からも公園の景色が楽しめる開放的で利用しやすい空間であり、乳幼児や高齢者等の休憩場所など、あらゆる公園利用者が「この公園には、この施設があるから安心して行ける。」と思えるハートフルな施設が充実
- トイレは、車いすなど様々な公園利用者に配慮した多目的仕様
- 季節を問わず公園景観を眺めながら憩える屋内飲食スペースや、緑に包まれた環境の中でくつろげる屋外飲食スペースなど、古池公園の景観を新たな視点から楽しみ、そこでくつろぐことを目的に公園に訪れてもらえるような魅力づくり
- 災害時における避難者や帰宅困難者のため、物資や情報、避難場所の提供など、いざという時の一時避難地としての機能の向上

※実現に向けた手法は、自由な発想でご提案ください。